提案書評価採点基準表

業務名：放射線画像管理システム等導入業務委託

番号	評価項目	評価の考え方・着眼点	評価				
			A	B	C	D	E
			特に優れている	優れている	普通	やや不十分	不十分
1	業務実績	**参加事業者**については、放射線画像管理システム導入の実績が豊富であるか。	10	8	6	4	2
2		**提案するシステム**については、350床以上の病院への導入の実績が豊富であるか。	10	8	6	4	2
3	基本方針	地域医療連携に係る標準規格に準拠し、地域医療機関への情報提供を標準的な方法で行うための提案が具体的に提示されているか。	20	16	12	8	4
4		２病院間の画像・レポートのオンライン参照、「遠隔読影診断」を実現するための具体的な提案がなされているか。	20	16	12	8	4
5		市民病院から「富山市・医師会急患センター」への画像検査結果送信を安全かつ円滑に行うための提案が具体的に提示されているか。	20	16	12	8	4
6		自院保存を必要とする画像の保存管理や業務フロー全般の改善を図るための具体的な提案がなされているか。	10	8	6	4	2
7		被ばく線量管理業務やモダリティ画像の検像、レポートの未読・既読管理など、２病院における医療安全の品質向上のための提案が具体的に提示されているか。	10	8	6	4	2
8	導入プロジェクト管理	各工程での事業者と当事業局の役割分担、工程期間、作業内容が具体的に提示され、適切な要員が配置されているか。	20	16	12	8	4
9		プロジェクト全体を通して、職員の負担を軽減するための提案が具体的に提示されているか。	20	16	12	8	4
10	システムの機能・操作性	各表示画面の視認性が高いこと、画像の検索・表示等の操作手順が簡便であること等、利用者が効率的に業務実施できるシステムとなっているか。	20	16	12	8	4
11		画像管理に関する一連のワークフロー並びに画像管理方法が適切なシステムとなっているか。	20	16	12	8	4
12		「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」の準拠、NPO法人日本乳がん検診精度管理中央機構の施設基準への適合等、今後の病院運営に資するシステムとなっているか。	20	16	12	8	4
13	システムの構成	本業務が要求する耐障害性・可用性・完全性・拡張性を備えたシステムとなっているか。	10	8	6	4	2
14		ソフトウェア（OS、関連ソフトを含む）のバージョンアップやモダリティ等の更新に伴う対応について、適切な提案がなされているか。	10	8	6	4	2
15		新システム及びネットワークの構成が具体的に提示されているか。	10	8	6	4	2
16	職員支援	利用者向けのマニュアル提供や研修実施等、システムの操作手順や業務フローを理解するための提案がなされているか。	10	8	6	4	2
17		職員からの問い合わせ対応やオンラインサポート等、システム運用後の職員支援体制について具体的な内容が提示されているか。	10	8	6	4	2
18	セキュリティ・緊急対応	セキュリティ対策について、適切な対策が具体的に提示されているか。	20	16	12	8	4
19		ハードウェア故障や災害等によりシステム障害が発生した場合において、短時間で運用を復旧するための提案がなされているか。	20	16	12	8	4
20	その他	市民病院及びまちなか病院における現状と課題を理解し、課題解決に向けた的確な提案がなされているか。	20	16	12	8	4
21		業務改善や職員の負荷軽減等について、実現できる有益な追加提案があるか。	10	8	6	4	2

番号	評価項目	評価の考え方・着眼点	評価				
			A	B	C	D	E
			特に優れている	優れている	普通	やや不十分	不十分
22	業務要求及び機能要求の適合率	業務要求の適合率（注１）	20	16	12	8	4
23		機能要求の適合率（注１）	20	16	12	8	4
24	価格	導入に要する費用（注２）	20	16	12	8	4
25		システムを６年間使用する場合のトータル費用（注２）	20	16	12	8	4
評価の合計（４００点満点）							

本プロポーザルにおける受託候補者は、各委員による評点の合計が1,440点以上である提案者のうち、評点の合計の最も高い者を受託 候補者として選定する。
ただし、評点の合計が同値の者が複数いる場合は、最も高い評点を得た委員数の多い提案者を受託候補者として選定する。 上記の選定においても受託候補者が決定しないときは、抽選とする。
一者のみ参加のときは、あらかじめ決定した選定最低基準点を満たしていれば受託候補者として特定することとする。

（注１）
番号２２、２３（業務要件及び機能要件の適合率）
【採点方法】
「業務要求及び機能要求回答書」の回答結果を基に採点を行う。
業務要件、機能要件のいずれの各項目も、『○（標準パッケージで対応できる）』を１点、『×（標準パッケージでは対応できない）』を０点とし、業務要件は56点、機能要件は585点を満点とする。
１．業務要件及び機能要件について、適合率を算出する。
[適合率（％）]（業務要件）＝（当該提案者の回答結果÷56）×100
[適合率（％）]（機能要件）＝（当該提案者の回答結果÷585）×100
２．算出された適合率（％）を評価点に換算する。
ただし、評価点の換算は以下のとおりとする。
100％>[適合率]≧95％…20点、95％>[適合率]≧90％…16点、90％>[適合率]≧85％…12点、
85％>[適合率]≧80％…8点、80％>[適合率]…4点

（注２）
番号２４、２５（価格）
【採点方法】
１．導入費用及びシステムを６年間使用する場合のトータル費用について、評価点を算出する。
[評価点ａ]＝20点×（全提案者中の最低見積価格÷当該提案者の見積価格）
ただし、20>a≧16…16点、16>a≧12…12点、12>a≧8…8点、8>a…4点とする。